

「令和5年度放射光利用実地研修及び活用支援FS 成果報告会」の開催について

宮城県では、令和6年4月の次世代放射光施設 NanoTerasu（ナノテラス）の運用開始に向けて、県内ものづくり企業への放射光施設の普及啓発及び利用促進を図ることを目的として、宮城県放射光利用実地研修事業（令和元年度～）、活用支援FS事業（令和3年度～）を実施しています。このたび、以下のとおり成果報告会を開催しますので、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

なお、取材を希望される場合は、会場準備の都合上、令和6年3月19日（火）午後5時までに電話又は電子メールにて申込み願います。

1 令和5年度放射光利用実地研修及び活用支援FS 成果報告会の概要

- (1) 日 時 令和6年3月21日（木）午後1時30分から午後4時30分まで
- (2) 場 所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口 ホール5A
- (3) 主 催 宮城県
- (4) 内 容
 - ・挨拶（13:30）
産業技術総合センター 所長 伊藤 正弘
 - ・第1部 放射光利用実地研修（アドバンストコース）成果報告会（13:35～14:35）
 - ① 成果報告1「放射光X線CTによる食品解凍技術の評価」
アイリスオーヤマ株式会社 応用研究部 藤村 洋 氏
 - ② 成果報告2「放射光による電線樹脂材料の残留応力に関する分析について」
北日本電線株式会社 新事業研究部 技術研究G 下村 鈴之介 氏
 - ・第2部 活用支援FS 成果報告会（14:35～15:35）
 - ① 「高分子架橋材料の構造解析～放射光小角X線散乱の応用～」
産業技術総合センター 材料開発・分析技術部 研究員 遠藤 崇正
 - ② 「放射光斜入射X線回折によるセラミックス表面分析の試み」
産業技術総合センター 材料開発・分析技術部 主任研究員 内海 宏和
 - ③ 「X線CTとX線回折の複合による非破壊異物分析の試み」
産業技術総合センター 材料開発・分析技術部 研究員 伊藤 桂介
 - ・情報提供（15:35～15:50）
ナノテラスの利用方法と支援制度について
 - ・情報交換会（成果報告会終了後～16:30）

※当日は、放射光測定に係る有識者ゲスト3名をお迎えし、各成果報告に対して、コメントを頂戴することとしております。

※情報交換会には、成果報告者及び有識者ゲストにも出席いただき、参加者の皆様と放射光利用に係る情報交換をしていただくこととしております。

2 取材について

取材を希望される場合（一部撮影制限あり）は、お手数ですが、令和6年3月19日（火）午後5時までに電話又は電子メールにて担当宛て申込願います。

【一部取材（撮影）制限について】

成果報告の内容（発表スライド）については、一部撮影の制限がございます。当日、予め事務局に御確認いただき、取材いただきますようお願いいたします。

○第1部放射光利用実地研修（アドバンスコース）成果報告会について

アイリスオーヤマ(株)様、北日本電線(株)様ともに、指定の発表スライドのみ撮影可能です。

○第2部 活用支援FS成果報告会について

① 高分子架橋材料の構造解析～放射光小角X線散乱の応用～については、指定の発表スライドのみ撮影可能です。②及び③については、撮影制限はありません。

（参考）

◆宮城県放射光利用実地研修について

2024年度の次世代放射光施設稼働を見据え、県内企業の施設利用促進を図り、研究開発力の強化によるイノベーション創出、競争力強化によるものづくり産業の振興を目的として、令和元年度から実施している事業。

産業技術総合センター職員のサポートのもと、企業自らが放射光を実際に試してみることで、放射光の活用可能性等を探っていただくとともに、成果報告会にて発表いただくことで県内企業への放射光施設の普及啓発を図っている。

なお、研修参加事業者に対しては、「宮城県放射光利用実地研修補助金」を交付しています。

◆活用支援FS事業

県内企業の放射光施設活用に向けた支援力強化の取組として、県内企業の皆様のニーズをもとに職員が産業技術総合センターのラボ機や国内の放射光施設を活用して技術課題の解決可能性を調査する事業。

調査内容及びその結果を県内企業の皆様に共有することで、放射光を自社の技術課題の解決ツールとして認識いただくとともに、放射光の普及啓発と利用促進を図っている。